

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

| | |
|------|------------|
| 学校名 | 愛知医科大学 |
| 設置者名 | 学校法人愛知医科大学 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 学部名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数 | | | | 省令で定める基準単位数 | 配置困難 |
|---------------------------|-------------|-----------|-----------------------|---------------------|----------|----|-------------|------|
| | | | 全学 共通 科目 | 学部 等 共通 科目 | 専門 科目 | 合計 | | |
| 医学部 | 医学科 | 夜・通信 | | | 45 | 45 | 19 | |
| | | 夜・通信 | | | | | | |
| 看護学部 | 看護学科(看護師課程) | 夜・通信 | | | 70 | 70 | 13 | |
| | 看護学科(保健師課程) | 夜・通信 | | | 75 | 75 | 13 | |
| (備考) | | | | | | | | |
| 看護学部 旧課程(留年生)用単位数(11単位)含む | | | | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

| |
|--|
| ホームページにより公表 |
| 1 医学部 https://www.aichi-med-u.ac.jp/files/igaku/kyomu_jyugyokamoku2020.pdf |
| 2 看護学部 https://www.aichi-med-u.ac.jp/files/kango/jitsumu_class_subject.pdf |

3. 要件を満たすことが困難である学部等

| |
|-----------|
| 学部等名 |
| (困難である理由) |

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

| | |
|------|------------|
| 学校名 | 愛知医科大学 |
| 設置者名 | 学校法人愛知医科大学 |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページに掲載
<https://www.aichi-med-u.ac.jp/files/soumu/yakuinmeibo.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容 や期待する役割 |
|--------------------------|---------|-----------------------------|---------------------|
| 非常勤 | 弁護士 | 2019. 1. 28 -2022. 1. 27 | 法務 |
| 非常勤 | 株式会社相談役 | 2019. 1. 28 -2022. 1. 27 | 広報 |
| (備考) 学外理事：上記2名を含め 計7名 | | | |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|------------|
| 学校名 | 愛知医科大学 |
| 設置者名 | 学校法人愛知医科大学 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|---|---|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> | |
| <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>1 作成過程 シラバス作成の際に各教員へ手引きを配付し、記載すべき項目を提示している。また、作成されたシラバスについて、当該科目と関係のない第三者によるチェックを行っている。</p> <p>2 作成時期 10月頃から3月</p> <p>3 公表時期 教員・在学生等への公表は3月頃に行い、ホームページへの掲載は4～5月頃実施している。</p> | |
| <p>授業計画書の公表方法</p> | <p>ホームページにより公表</p> <p>1 医学部 https://www.aichi-med-u.ac.jp/su06/su0606/_icsFiles/afieldfile/2020/04/08/kyomu_kyouka2020.pdf</p> <p>2 看護学部 https://www.aichi-med-u.ac.jp/su02/su0206/kango090.pdf</p> |
| <p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> | |
| <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則及び履修規程の成績評価基準に則り成績を判定し、単位を認定している。また、各授業科目における個別の評価方法については、シラバスへ具体的な成績評価の方法、基準・配分割合を明記している。</p> | |

| | |
|---|---|
| <p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> | |
| <p>1 客観的な指標の算出方法</p> <p>医学部 当該年度に修得しなければならない科目の合計点の平均を算出する。 また、算出に含める科目のうち失格科目がある場合は0点で算出する。</p> <p>看護学部 当該年度に修得しなければならない科目の合計点の平均を算出する。 また、算出に含める科目のうち失格科目がある場合は0点で算出する。 なお、下記に該当する科目は除外とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選択科目のうち修得すべき単位数を超える科目 (複数の単位認定をされた科目がある場合は、高得点科目を対象とし、算出に含める。) ・ 同一区分の中で複数の学年次にわたって開講されている科目 ・ 単位認定科目 ・ 前年度までの修得科目 | |
| <p>2 実施状況</p> <p>指標を基にした成績の分布を表す資料を教員及び学生に対して、eラーニングシステムにより公表している。</p> | |
| <p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p> | <p>本学ホームページにより公表</p> <p>1 医学部 https://www.aichi-med-u.ac.jp/su06/su0605/index.html</p> <p>2 看護学部 https://www.aichi-med-u.ac.jp/files/kango/sanshutu.pdf</p> |
| <p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> | |

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

1 医学部

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学医学部では、建学の精神に基づき、新時代の医学知識と技術を身につけて科学的・倫理的判断能力および情緒と品格を兼ね備えた教養豊かな人間性を培い、地域社会に奉仕できる医師の養成を目指します。カリキュラム・ポリシーに沿ったカリキュラムを履修し、卒業時能力達成基準（コンピテンス、コンピテンシー）に定める項目を身につけた学生に卒業を認定し、学士（医学）の学位を授与します。

2 看護学部

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学看護学部では、教育理念に基づき、所定の単位を修得し、次の能力を身につけた学生に学士（看護学）の学位を授与します。

- 1 看護専門職者として学習に主体的に取り組むことができる。
- 2 看護専門職者として必要な基礎的な知識を身につけている。
- 3 看護専門職者として科学的、明晰かつ批判的・発展的・論理的に思考することができる。
- 4 看護専門職者として、倫理的に思考することができる。
- 5 看護学の基本概念である人間、健康、環境、及び看護について体系的に理解している。
- 6 看護専門職者として必要な基礎的な看護実践能力を身につけている。
- 7 あらゆる職種で成り立つ保健・医療・福祉のチームメンバーと信頼関係に基づき、協働することができる。
- 8 看護専門職者として看護学の発展に貢献しようとする意欲を持っている。
- 9 看護専門職者として対象となる人々と共に健康と幸福を追求し人間的に成長しようとする態度を示すことができる。

3 実施状況

ディプロマ・ポリシーの方針及び単位修得状況から卒業認定を実施している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

本学ホームページにより公表

1 医学部

<https://www.aichi-med-u.ac.jp/su06/su0612/index.html>

2 看護学部

<https://www.aichi-med-u.ac.jp/su08/su0814/index.html>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

| | |
|------|------------|
| 学校名 | 愛知医科大学 |
| 設置者名 | 学校法人愛知医科大学 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | https://www.aichi-med-u.ac.jp/su01/su0105/index.html#FS02 |
| 収支計算書又は損益計算書 | https://www.aichi-med-u.ac.jp/su01/su0105/index.html#FS02 |
| 財産目録 | https://www.aichi-med-u.ac.jp/su01/su0105/index.html#FS02 |
| 事業報告書 | https://www.aichi-med-u.ac.jp/su01/su0105/index.html#FS02 |
| 監事による監査報告(書) | https://www.aichi-med-u.ac.jp/su01/su0105/index.html#FS02 |

2. 事業計画(任意記載事項)

| | |
|-------------|---------|
| 単年度計画(名称:) | 対象年度:) |
| 公表方法: | |
| 中長期計画(名称:) | 対象年度:) |
| 公表方法: | |

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

| |
|--|
| 公表方法: 本学ホームページにより公表 https://www.aichi-med-u.ac.jp/su02/su0213/index.html |
|--|

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

| |
|--|
| 公表方法: 本学ホームページにより公表 https://www.aichi-med-u.ac.jp/files/soumu/H25ninsyou-hyouka.pdf |
|--|

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

| |
|---|
| 学部等名 |
| 教育研究上の目的 公表方法：本学ホームページにより公表 1 医学部 https://www.aichi-med-u.ac.jp/su06/su0603/index.html 2 看護学部 https://www.aichi-med-u.ac.jp/su08/su0803/index.html |
| (概要) 1 医学部 教育理念 本学医学部の教育理念は、医学知識や技術の修得はもとより、医学を志す者として教養豊かな人間性を涵養することです。 すなわち、建学の精神及び学是に基づいた科学的・倫理的判断力、社会貢献の自覚を養い、情緒と品格を兼ね備えた医療人を育成することです。 教育目標 本学医学部は、ヒューマニズムに徹し、医学・医療の社会的使命を進んで果たす医師を養成することを教育目標としています。現代社会は、医学の研究に豊かな思考力と創造性を発揮し、常に医学の進歩に対応しつつ、最新の知識、技能および態度を身につけることのできる医師又は医学者を求めています。本学医学部では、これらの要請に的確に対応するため、3つの教育目標を掲げています。 1 将来の医学・医療の様々な分野に共通して必要な基本的知識、技能、態度を身につけ、生涯にわたる学修の基礎をつくります。 2 自主性・創造性を身につけ、問題解決能力を高めます。そして、医学の進歩と、医療をめぐる社会情勢の変化に対応できる能力を涵養します。 3 医療を予防・診断・治療から社会復帰までの包括的なものとして捉え、自然科学のみならず、その背景にある心理的・社会的諸問題をも含めて総合的に対応できる能力を涵養します。 2 看護学部 教育理念 人間の尊厳を重んじる豊かな感性と思考力を持ち、対象となる人々と共に健康と幸福を追求し人間的に成長する看護を提供できる専門職者を育成します。 科学の進歩と国内外の社会・医療環境の変化に幅広く対応できる質の高い実践者を育成します。また、教育・研究者としての資質を有し、看護学の発展に貢献する看護専門職者を育成します。 教育目標 本学看護学部の教育理念に基づく教育目標は次のとおりです。 1 思いやりのある豊かな人間性を持ち、人間の尊厳と権利を養護する倫理的判断力を持つ人材を育成します。 2 科学的に分析し、明晰かつ批判的・発展的・論理的に思考するクリティカルシンキング能力を持つ人材を育成します。 3 看護専門職者として、対象となる人々の健康と幸福を追求し、科学的根拠に基づく看護を提供できる能力を育成します。 4 看護専門職者としての自律性を育むとともに、保健・医療・福祉の連携・協働に取り組む能力を育成します。 |

- 5 グローバルな視点を持ち、地域社会の健康増進に貢献する人材を育成します。
- 6 生涯学習に主体的に取り組み、教育・研究者としての資質を持ち、実践科学としての看護学の発展に貢献しようとする人材を育成します。

卒業の認定に関する方針

公表方法：本学ホームページにより公表

- 1 医学部 <https://www.aichi-med-u.ac.jp/su06/su0612/index.html>
- 2 看護学部 <https://www.aichi-med-u.ac.jp/su08/su0814/index.html>

(概要)

1 医学部

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学医学部では、建学の精神に基づき、新時代の医学知識と技術を身につけて科学的・倫理的判断能力および情緒と品格を兼ね備えた教養豊かな人間性を培い、地域社会に奉仕できる医師の養成を目指します。カリキュラム・ポリシーに沿ったカリキュラムを履修し、卒業時能力達成基準（コンピテンス、コンピテンシー）に定める項目を身につけた学生に卒業を認定し、学士（医学）の学位を授与します。

2 看護学部

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学看護学部では、教育理念に基づき、所定の単位を修得し、次の能力を身につけた学生に学士（看護学）の学位を授与します。

- 1 看護専門職者として学習に主体的に取り組むことができる。
- 2 看護専門職者として必要な基礎的な知識を身につけている。
- 3 看護専門職者として科学的、明瞭かつ批判的・発展的・論理的に思考することができる。
- 4 看護専門職者として、倫理的に思考することができる。
- 5 看護学の基本概念である人間、健康、環境、及び看護について体系的に理解している。
- 6 看護専門職者として必要な基礎的な看護実践能力を身につけている。
- 7 あらゆる職種で成り立つ保健・医療・福祉のチームメンバーと信頼関係に基づき、協働することができる。
- 8 看護専門職者として看護学の発展に貢献しようとする意欲を持っている。
- 9 看護専門職者として対象となる人々と共に健康と幸福を追求し人間的に成長しようとする態度を示すことができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

公表方法：本学ホームページにより公表

- 1 医学部 <https://www.aichi-med-u.ac.jp/su06/su0612/index.html>
- 2 看護学部 <https://www.aichi-med-u.ac.jp/su08/su0814/index.html>

(概要)

1 医学部

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

医師に求められる知識・技能・態度を、段階的、スムーズに修得できるように講義および医療実習・臨床実習を1学年次から6学年次まで継続的、かつ、らせん状の学修方法にて積み重ねていきます。

学修内容が真の効果的な学びとなるように講義は単なる一方向性の座学ではなく、教員との双方向性のやりとり、学生間の意見交換・議論などのアクティブ・ラーニングを6年間通して行います。また、6年間継続する医療実習および臨床実習では、常に、事前学習、実地体験、体験の振り返りのまとめとプレゼンテーションを行い、経験からの学びを深め、確実にそれらを身につけられるようにします。

これらによって修得された学びは、医学的知識を評価する試験だけではなく、シミュレーションを使った技能の評価、振り返り記述や多職種を含めた多方面からの態度評価など、多面的・複合的な方法によって学修成果の達成度を明らかにします。

2 看護学部

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

カリキュラムは、「教養科目」、「専門基礎科目」、「看護学専門科目」によって、構成されます。

「教養科目」は、看護学を学び、看護を実践していくためには、幅広い教養と現代社会の諸問題や自然環境について理解していることが重要であるとともに、学問への導入と大学での学習スキルの獲得が必要であることから、「人文科学」、「社会科学」、「自然科学」、「言語と表現」で構成します。

「専門基礎科目」は、看護専門職者としての基礎的な知識や看護実践能力育成の基盤となる人間と健康、取り巻く環境について理解を深めることを目指して、「人間の理解」、「健康の理解」、「環境の理解」で構成します。

「看護学専門科目」は、資質の高い看護実践者を育成するために必要な知識・技術等を学ぶことを目的としており、看護専門職者として生涯にわたり継続して学び続け、教育・研究者としての資質が育つための基盤を固めることを目指しています。

すなわち看護学を論理的、実践的に理解し、質の高い看護を提供できるようになるために、次のとおり構成します。

1 基礎看護

看護学の基盤となる科目で構成します。

2 健康レベル別看護

健康レベルに対応した科目で構成します。

3 ライフサイクル別看護

ライフサイクル及び発達に応じた科目で構成します。

4 広域看護

様々な場における個人、家族、集団、地域を対象とする看護の科目で構成します。

5 総合看護

看護の総合と発展を目指した科目で構成します。

入学者の受入れに関する方針

公表方法：ホームページにより公表

1 医学部 <https://www.aichi-med-u.ac.jp/su06/su0612/index.html>

2 看護学部 <https://www.aichi-med-u.ac.jp/su08/su0814/index.html>

(概要)

1 医学部

本学医学部のカリキュラムを修得し、卒業時に求められる能力を身につけることができる者として、次の能力を持つ者を求めています。

求める学生像

- 1 医学への強い志向と学習意欲を持つ人
- 2 医学を学ぶために必要な基礎学力と問題解決能力を備えた人
- 3 人間性と教養が豊かで、倫理的価値判断に優れた人
- 4 協調性を持ちコミュニケーション能力に富んだ人

5 誠実で常に努力を怠らない人

本学医学部が求める学生を受入れるための入学者選抜は、次の方針により実施します。

- 1 医学部の学生として相応しい基礎的学力の到達度を確認するため、理科・数学・英語の筆記試験を実施します。
- 2 医師として求められる倫理的価値判断、感性、コミュニケーション能力などを判断するため、面接試験および小論文試験を実施します。

本学医学部の学生は、医師国家試験の合格という大きな目標の達成だけでなく、医師に相応しい教養や感性（情緒と品格）を持つことが求められます。入学者の選抜においては、基礎的学力のみでなく、思考力・表現力・学ぶ意欲・コミュニケーション能力なども重視します。また多様な学生の受入れのため、一般入学試験のほかに国際バカロレア入学試験など多様な入学者選抜を実施します。

2 看護学部

愛知医科大学看護学部は、人間尊重を基盤とした思いやりのある看護を提供できる専門職者を養成することを目標とします。

そのため、次のような能力を有する人を求めています。

- 1 人間や社会に関心を持っている人
- 2 人との関わりを大切にできる人
- 3 看護学を学ぶ上での基本となる知的能力や探求心を持ち、豊かな創造力を持っている人
- 4 看護職になるために、主体的に学習する意思を持っている人
- 5 国内外の地域・社会貢献に意欲を持っている人

本学看護学部が求める学生を受け入れるための入学者選抜は、次の方針により実施します。

- 1 看護学部の課程で学び、看護専門職者を目指すために必要な基礎学力の到達度を確認します。学校推薦型選抜（公募制）では、基礎学力試験として国語、数学、英語の筆記試験を実施します。一般選抜では、国語・数学（いずれかを選択）、理科、英語の筆記試験を実施します。
- 2 看護学部の教育で重視している、豊かな人間性（Humanity）、広い視野と国際感覚（Internationality）、地域社会への貢献（Community）に基づいて、人間を尊重し、多様化する社会に貢献できる人材を求めます。学校推薦型選抜の面接では、看護学を学ぶ意欲や自ら積極的に学ぶ学習姿勢、コミュニケーション能力を重視します。
- 3 入学試験においては、学校推薦型選抜、一般選抜のほか、豊かな社会経験及び識見を有する学生を選抜する社会人等特別選抜など、多様な入学者選抜を実施します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学ホームページにより公表

- 1 医学部 <https://www.aichi-med-u.ac.jp/su06/su0604/index.html>
- 2 看護学部 <https://www.aichi-med-u.ac.jp/su08/su0804/index.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

| a. 教員数（本務者） | | | | | | | |
|------------------------------------|--------|---|-----|-----|-----|-----------|------|
| 学部等の組織の名称 | 学長・副学長 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 その他 | 計 |
| — | 6人 | — | | | | | 6人 |
| 医学部 | — | 64人 | 39人 | 55人 | 50人 | —人 | 208人 |
| 看護学部 | — | 10人 | 13人 | 9人 | 10人 | —人 | 42人 |
| b. 教員数（兼務者） | | | | | | | |
| 学長・副学長 | | 学長・副学長以外の教員 | | | | | 計 |
| 0人 | | 290人 | | | | | 290人 |
| 各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等) | | 公表方法：大学ホームページにより公表 1 医学部 https://www.aichi-med-u.ac.jp/su02/su0206/index.html 2 看護学部 https://www.aichi-med-u.ac.jp/su08/su0809/index.html | | | | | |
| c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項） | | | | | | | |
| | | | | | | | |

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

| a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等 | | | | | | | | |
|-------------------------|-------------|-------------|------|-------------|-------------|------|-----------|-----------|
| 学部等名 | 入学定員 (a) | 入学者数 (b) | b/a | 収容定員 (c) | 在学生数 (d) | d/c | 編入学 定員 | 編入学 者数 |
| 医学部 医学科 | 115人 | 117人 | 101% | 688人 | 718人 | 104% | 該当なし | 該当なし |
| 看護学部 看護学科 | 100人 | 103人 | 103% | 400人 | 414人 | 104% | 該当なし | 該当なし |
| 合計 | 215人 | 220人 | 102% | 1,088人 | 1,132人 | 104% | 該当なし | 該当なし |
| (備考) | | | | | | | | |

| b. 卒業者数、進学者数、就職者数 | | | | |
|---|----------------|--------------|-------------------|--------------|
| 学部等名 | 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| | 104人 (100%) | 0人 (0%) | 98人 (94.2%) | 6人 (5.8%) |
| 看護学部 看護学科 | 95人 (100%) | 3人 (3.2%) | 92人 (96.8%) | 0人 (0%) |
| 合計 | 199人 (100%) | 3人 (1.5%) | 190人 (95.5%) | 6人 (3.0%) |
| (主な進学先・就職先) (任意記載事項) | | | | |
| 1 医学部 愛知医科大学病院、名古屋市立大学病院、一宮市民病院、公立西知多総合病院、名古屋市立東部医 | | | | |

療センター、名古屋記念病院等

2 看護学部

愛知医科大学病院、名古屋市立大学病院、三重大学医学部附属病院、藤田医科大学病院、
名古屋第一赤十字病院、扶桑町保健センター、大府市保健センター等

(備考)

| c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項） | | | | | |
|--|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 学部等名 | 入学者数 | 修業年限期間内 | | | |
| | | 卒業生数 | 留年者数 | 中途退学者数 | その他 |
| | 人 (100%) | 人 (%) | 人 (%) | 人 (%) | 人 (%) |
| | 人 (100%) | 人 (%) | 人 (%) | 人 (%) | 人 (%) |
| 合計 | 人 (100%) | 人 (%) | 人 (%) | 人 (%) | 人 (%) |
| (備考) | | | | | |

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

| (概要) |
|---|
| <p>1 医学部</p> <p>1・2学年次では基礎科学・基礎医学を、3・4学年次では基礎医学・臨床医学を講義・演習・実験・実習の方法で受講し、4学年次～6学年次ではクリニカル・クラークシップ（臨床実習）を実習の方法で受講する。4月から3月まで開講し、1コマ70分の授業で8:50～17:20実施している。</p> <p>2 看護学部</p> <p>教養科目群、専門基礎科目群は1・2学年次で受講している。看護学専門科目群は1～4学年次で受講しており、実習科目も該当している。授業の方法は、講義・演習・実習がある。1コマ90分の授業で9:00～17:50で実施している。</p> |

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

| (概要) | | | | |
|--|-----|-----------------|----------------------|-----------------------|
| <p>1 医学部</p> <p>ディプロマ・ポリシーを定めて、ホームページにより公表している。 学修成果は、試験・レポート・口頭試問等で評価する。 6年間以上在学し、修得すべき全単位を修得した者に卒業の認定を行う。</p> <p>2 看護学部</p> <p>ディプロマ・ポリシーを定めて、ホームページにより公表している。また、学則及び看護学部履修規程に則り、成績を判定し、単位を認定している。なお、各授業科目の評価方法については、シラバスへ具体的に明記している。 卒業認定に当たっては、ディプロマ・ポリシーの方針及び単位修得状況を基に実施している。</p> | | | | |
| 学部名 | 学科名 | 卒業に必要となる 単位数 | GPA制度の採用 (任意記載事項) | 履修単位の登録上限 (任意記載事項) |
| 医学部 | 医学科 | 231.5 単位 | 有・無 | 単位 |
| | | 単位 | 有・無 | 単位 |

| | | | | |
|----------------------------|-----------------|--------|-----|----|
| 看護学部 | 看護学科 (看護師課程) | 125 単位 | 有・無 | 単位 |
| | 看護学科 (保健師課程) | 132 単位 | 有・無 | 単位 |
| G P A の活用状況 (任意記載事項) | | 公表方法 : | | |
| 学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項) | | 公表方法 : | | |

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : ホームページにおり公表

1 キャンパスマップ

<https://www.aichi-med-u.ac.jp/su02/su0207/index.html>

2 大学要覧

<https://www.aichi-med-u.ac.jp/su02/su0203/index.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

| 学部名 | 学科名 | 授業料 (年間) | 入学金 | その他 | 備考(任意記載事項) |
|------|-----------------|-------------|------------|------------|--|
| 医学部 | 医学科 (初年度) | 3,000,000円 | 1,500,000円 | 3,700,000円 | (その他の内訳) 教育充実費 2,700,000円 施設維持費 1,000,000円 |
| | 医学科 (2年度以降) | 3,000,000円 | — | 2,200,000円 | (その他の内訳) 教育充実費 1,200,000円 施設維持費 1,000,000円 |
| 看護学部 | 看護学科 (初年度) | 1,000,000円 | 300,000円 | 370,000円 | (その他内訳) 教育充実費 200,000円 実験実習費 170,000円 |
| | 看護学科 (2年度以降) | 1,000,000円 | — | 520,000円 | (その他内訳) 教育充実費 300,000円 実験実習費 220,000円 |

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

| |
|---|
| a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) |
| <p>1 医学部</p> <p>大学独自の奨学制度を充実させることにより学生の修学を支援している。また、学生と教員との相互コミュニケーションを密なものとするために、学生8名～10名前後に1名又は複数の教員が付く指導教員(アドバイザー)制度を設置している。指導教員は担当学生の出席状況及び学業成績に関する個別相談、保護者との連絡・懇談、その他学生生活全般について助言を行っている。</p> <p>2 看護学部</p> <p>学生の修学及び修学に関する学生生活について指導助言し、学生生活の向上を図ることを目的として各学年8名前後の学生に対して1名のアドバイザーを置き、アドバイザーの連絡・調整並びに学年単位で行うことが望ましい学生生活上の連絡指導と、父母との連携・懇談を行うために、各学年に学年主任1名と副主任2名を置いている。</p> <p>また、2学年次生に対し、病院実習が始まる以前に、より円滑に学生が実習に参加できるよう「実習前マナー講座」や「メイク対策講座」を開催している。</p> |
| b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) |
| <p>1 医学部</p> <p>医学部事務室に全国各地の病院から届く「臨床研修医」の案内が閲覧できるようになっている。また、臨床研修医制度に関する説明会なども開催している。</p> <p>進路相談を希望する場合は、指導教員を始めとする各関係教員が相談に応じている。</p> <p>2 看護学部</p> <p>2学年次生に対して「メイク対策講座」を開催し、就職活動や就職後の職場でのメイクにも役立てられている。また、3学年次生に対しては、前学期開始後に就職支援ガイダンスを実施し、学年主任、副主任及び学生委員会進路支援担当委員から就職活動における留意点などを説明し、外部講師による就職支援講座を行っている。また、本学部卒業生を招いての「進路懇談会」を開催し、在学中の就職活動から現在までの経験談を聞き、社会人</p> |

としてのマナー、面接時の心構えなどの参考とさせている。更に、4 学年次生に対しては複数回に渡って進路希望調査を行うことにより、各学生の就職・進学予定状況を把握した上での指導を行っている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

1 学生相談室

学生生活において色々な問題を抱える相談窓口として『学生相談室』を設置し、臨床心理士の資格を有する専門カウンセラーにより、修学上の問題から学生生活の相談に至るまで個別に対応している。

2 保健管理センター

本学の学生が健康な状態で大学生活を送ることが出来るよう、健康の保持増進、疾病の予防を図ることを目的とする施設である。具体的には、学生の健康相談、健康指導及び軽症患者に対する応急処置、受診指導などを行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：

- 1 医学部 <https://www.aichi-med-u.ac.jp/su02/su0206/index.html>
- 2 看護学部 <https://www.aichi-med-u.ac.jp/su08/su0808/index.html>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

| | |
|------|------------|
| 学校名 | 愛知医科大学 |
| 設置者名 | 学校法人愛知医科大学 |

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

| | | 前半期 | 後半期 | 年間 |
|--------------------|------|-----|-----|----|
| 支援対象者（家計急変による者を除く） | | 0人 | 0人 | 0人 |
| 内 訳 | 第Ⅰ区分 | 0人 | 0人 | |
| | 第Ⅱ区分 | 0人 | 0人 | |
| | 第Ⅲ区分 | 0人 | 0人 | |
| 家計急変による支援対象者（年間） | | | | 0人 |
| 合計（年間） | | | | 0人 |
| (備考) | | | | |

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

| | |
|----|----|
| 年間 | 0人 |
|----|----|

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当し

たことにより認定の取消しを受けた者の数

| | 右以外の大学等 | | |
|---|---------|-----|-----|
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| 短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。） | | | |
| 修業年限で卒業又は修了 できないことが確定 | 0人 | 人 | 人 |
| 修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下) | 0人 | 人 | 人 |
| 出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況 | 0人 | 人 | 人 |
| 「警告」の区分に 連続して該当 | 0人 | 人 | 人 |
| 計 | 0人 | 人 | 人 |
| (備考) | | | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失つた者の数

| 右以外の大学等 | | 短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及び専 門学校（修業年限が2年以下のもの に限る。） | | | |
|---------|----|---|----|-----|----|
| 年間 | 0人 | 前半期 | 0人 | 後半期 | 0人 |
| | | | | | |

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）
の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

| | |
|---------|----|
| 退学 | 0人 |
| 3月以上の停学 | 0人 |
| 年間計 | 0人 |

| |
|------|
| (備考) |
|------|

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

| | |
|---------|----|
| 3月未満の停学 | 0人 |
| 訓告 | 0人 |
| 年間計 | 0人 |
| (備考) | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

| | 右以外の大学等 | 短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。） | |
|---|---------|---|-----|
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| 修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下) | 0人 | 人 | 人 |
| GPA等が下位4分の1 | 0人 | 人 | 人 |
| 出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況 | 0人 | 人 | 人 |
| 計 | 0人 | 人 | 人 |

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。